

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第86号

古牧だより通算180号

「けっこうにちょうだいしました」「ふかげんでございました」

古牧放課後子どもプランで 茶道の体験

7月19日(火)、古牧児童館で小学1年生の子どもたちを対象に茶道の心や作法の体験学習が開かれました。3回目の体験学習最終日です。夏休み明けには2～3年生も実施する予定です。「牧っ子クラブ」のみなさんにより毎年開かれ13年目を迎えます。

20名程の子どもたちが一組となり、お客様になる組とお手前する組に分かれて、横一線に正座、先生の「これから始めましょう」「宜しくお願いいたします」の掛け声に、しっかりとあいさつすることから体験学習がスタートしました。

会場には「和敬清寂」と書かれた掛け軸と生け花が飾られ、日本古式豊かな雰囲気の中



で子どもたちは少し緊張気味で始めました。

先生から、和：皆、和すること・仲良くすること。敬：人を敬うこと。清：心も身の周りも綺麗にすること。寂：静かにして落ち着いて。何事にも頑張るとりくむことが「和敬清寂」の意味ですと説明された後、子どもたちは作法の体験に取り組みました。

お客様役の子どもたちは一列に正座し、指導を受けながら「和菓子」を頂き、お手前側の子どもたちは、茶筌を上手に使いながらお茶をたてていました。

「けっこうにちょうだいしました」「ふかげんでございました」と、みんなであいさつ。子どもなりに真剣なひとときでした。

体験終了のとき、もう一回やりたい、和菓子がとてもおいしかった、もう一つ食べたいと、子どもたちは普段の子どもたちに戻った一瞬でした。

この素晴らしい体験を通して子どもたちは、学校生活で多くの学びやマナーを身につけて将来、社会に巣立ってゆく日がくることを期待し散会しました。



☆「星に願いを」☆



子育て支援部は7月6日(水)、2回目の研修会を開きました。

大型絵本の「ふしぎなキャンディ」と紙芝居「ねがいごとはないしょのひみつ」を読んだ後、七夕飾りの折り紙を教えていただきました。講師の今井順子さんを囲んであっという間の2時間でした。

願いを込めた星形を持ったみなさんの笑顔が並んでいますね！ (子育て支援部)

古牧地区社会を明るくする運動

＝ 作文発表・映画・講演 ＝

7月23日第66回古牧地区社会を明るくする運動推進委員会の主催により、古牧公民館で100名余の来賓、参加者により盛大に啓発運動集会が開かれました。

例年、全国的に行われる「社会を明るくする運動」の強調月間に、社会犯罪や非行を防止し立ち直りを支える地域力等の啓発運動の一環として、また、古牧地区がお互いに助け合い安心して暮らせる明るいまちづくりを進めていく一助になればと、中学生が作文を発表、映画鑑賞、講演がありました。

作文コンクールでは昨年の応募作品から、三陽中学校1年生の酒井夢衣さん（写真左）が「おじさんのにこにこパワー」、長野日大中学校2年生の大野桜子さん（写真右）が「まわりを考える」を発表しました。お二人とも温かい作品で人と人との出会い、そして、つながりの中で笑顔と気遣いでお互いを思いやる気持ちが出ていました。

映画鑑賞「おはよう、そして ありがとう」では、非行に走った主人公がもう一度やり直そうと歩き始めます。アルバイト先の仲間の冷たい言動や父親との衝突もあり、もがく中

で保護司と家庭の温かみの中で自分の生き方を見出していく姿を描いていました。

講演では、長野保護観察所で統括保護観察官の武田玄雄先生が「薬物依存の実態等」について

- ① 更生保護の源流と設立
 - 刑事事件の流れと保護観察
 - 犯罪の現状と再犯防止施策
 - 2020年オリンピック・パラリンピックの開催を視野に「世界一安全な日本」創設戦略
 - 更生保護施設とは
- ② 薬物依存
 - 薬物犯罪の再入状況
 - 危険ドラッグ（脱法ハーブ）
 - 社会貢献活動の制度導入

など、多岐に渡り講演をいただきましたが改めて薬物が簡単に手に入り身近にある状況をふまえ危険性を再認識しました。（総務部）



古牧地区親睦ゴルフ大会に107名が参加

7月5日（火）、心配された雨も上がり第12回目の親睦ゴルフ大会が住民自治協議会福祉部会の主催により、長野国際カントリークラブで開かれました。

107名という大勢のゴルフ仲間に参加いただき、真剣なプレーの中にも和気あいあい、話も弾んで交流の輪が広がる楽しい大会となりました。古牧地区ゴルフ同好会の世話役のみなさんが大会諸準備、成績発表兼懇親会では盛り上がりを見せ、あちこちの席からにこやかな笑顔が見られる大変良き日となりました。



ゴルフ場開発が最盛期であった昭和30年代から40年代の高度経済成長期に、社会の第一線で活躍してこられましたみなさんが高齢者となった今日、ゴルフを通じていつまでも健康で元気に過ごされることは大変素晴らしいことと思います。

福祉部会では、福祉健康部の主要事業の一つとして、今後も大勢のみなさんに参加頂ける楽しい事業として、親睦ゴルフ大会を位置づけ実施していきたいと考えています。

（福祉部会）



成績発表 （敬称略）

個人の部
 優勝：後藤 茂（西尾張部）
 準優勝：長谷川裕之（東和田）
 三位：塩入 茂（南高田）

団体の部
 優勝：南高田
 準優勝：西尾張部
 三位：平 林

団体クロスの部

優勝：南長池

ママが 思いを短冊に込めて 平林区子育て支援レポート

平林公民館で7月8日（金）、今年度2回目の平林子育て支援がありました。10時から2時間。子ども・ママたちにとっては短い時間でしたが、12家族13名とスタッフ（福祉推進会・友愛ボランティア・民生児童委員）8名の21名が参加。「七夕の日」ということで笹に子どもたちへの願いをママが短冊に書いて飾り、季節感を演出してみました。

最初の頃は、ママにしがみついていた子どもも、オモチャ・すべり台・玉入りテントで遊び、子ども同士が触れ合って、とても微笑

ましい光景になってきました。そして「紙芝居」をママと一緒に見て・聞いてからお茶会でおやつを頂き、日頃と変わった場所での子育てに、ママたちの気持ちが少しは軽くなったように見えたのは、私だけではなかったでしょう。

帰りには短冊を飾った笹を各自持ち帰って頂き、子どもの将来を夢見てもらいました。（平林区通信員・宇佐美憲一）



防災研修会レポート 要援護者は当然、女性への配慮など喫緊の課題

7月24日（日）、長野県危機管理部危機管理課の村田貴志氏を講師に区長、副区長、防災指導員、民生児童委員など50名が参加して防災研修会が開かれました。



避難所運営ゲーム（HAG）の体験

本年度、自主防災連絡会は長野県政出前講座（125テーマ）の中から避難所運営ゲーム（HUG）を選択し、災害時、自助・共助の段階での

地域防災力向上を目的としました。

HUGは、様々な問題を抱える避難者に見立てたカードを学校の避難所に並べてゆき、ここで起こる様々な出来事を判断しながら、スムーズな避難所への入所、適切な運営を体験するゲームです。

研修は8グループに分かれ、約2時間検討を重ねながら行われました。

災害時の要援護者への対応は当然の事ですが、今後、女性への配慮もまた喫緊の課題であると感じました。

講評後、日赤奉仕団古牧分団の皆様からの非常食を頂き閉会となりました。（総務部）

古牧の郷土史

「古牧村は本当に牧場だったの？」 28年度公民館部「役員研修会」

後編

善光寺平の用水体系

井原先生は、善光寺平の用水体系のお話では、古牧、柳原、朝陽地区は最古の条理的区画水田の分布地帯だったと解説。裾花川取水口からの鐘鑄川堰の造成・管理で守田廻神社の帯水池に集合・合流させる灌漑（かんがい）システム（治水工事）が古牧を含めた一帯で行われ、古牧も籾1粒が300倍になる水田地帯で潤っていたとのことでした。

善光寺平灌漑用水図面とA4判6ページにわたる資料で説明され、長池郷、和田郷、平林郷、高田郷など、各地区とも身近で興味深いお話で勉強になりました。私は、もっと歴

史を勉強しておけば良かったと実感しました。

今回の研修では、みんなの目が輝いていました。郷土の歴史を知ること、郷土への誇りと自信が持て、公民館活動にも励んでもらえると確信しました。

地域公民館の実践発表は、南高田、南長池、平林の公民館長が各地区の活動を報告され、参考になりました。なかでも南高田は女性の活躍が目覚ましく部長は全て女性とのことで、各地区からうらやましがられていました。

（公民館部）



8月から9月までの主な行事実施日のお知らせ

(多くの皆様の参加を
お待ちしております)

事業名	実施日	各区	実施内容	お問合せ先
防火・防犯・交通安全 ポスター審査会	8月20日(出)	古牧公民館	応募作品の審査	防犯部 243-4271
公民館対抗球技大会	8月21日(日)	3会場	地区公民館野球・バレー・卓球 対抗試合及び交流	公民館部 227-2991
夏季夜間防犯パトロール	8月	各区	夜間防犯パトロール	防犯部 243-4271
ひとり暮らしの高齢者の つどい	8月30日(火)	古牧公民館	おいしく食事して交流しましょう	ボランティアセンター 244-8159
防火・防犯・交通安全 ポスター表彰式	9月4日(日)	古牧公民館	ポスター入選作品の表彰	防犯部 243-4271
介護者のつどい	9月8日(休)	古牧公民館	負担の少ない介護方法を学んで、 介護者同士の交流を行います	ボランティアセンター 244-8159
交通安全集会	9月 7、14、28日	3ヶ所の交差点	7日(東和田) 14日(西尾張部) 28日(上高田北)	交通安全部 224-8494
少年少女球技大会	9月11日(日)	古牧小学校	野球・バスケットボール	青少年育成部 090-3585-3977
全戦没者追悼法要	9月27日(火)	西光寺		総務部 244-4107

しゃべんびつ



たまご

卵には、大きいダチョウの卵に、小さなウズラの卵までいろいろありますが、一般の家庭では普通の卵が一番、利用されています。

ご存知だと思いますが、卵の赤球と白球があります。赤球の方が高級？

カラが褐色の卵を赤球、白い普通の卵を白球と呼びます。赤球は白球に比べてちょっと高いため、なんとなく赤球の方が高級で栄養があるようなイメージがあります。しかし実際はどうでしょうか？

カラの色の違いは卵を産む親鳥の種類によるもので、「黄班プリマスロック」や「名古屋コーチン」などの色のついた羽をもつ親鳥は赤球を産み、「白色レグホン」というイタリア原産の種類を改良した白い羽の親鳥は白球を産みます。

種類が違うだけで、栄養価はまったく同じであるとか？

ただ、赤球を産む鶏の方がたくさん餌を食べるようです。

(小林 忠男)

今、行動のとき

交通安全「私から！」運動実施中！

夏の行楽期の交通事故防止



古牧地区の世帯数と人口

28年7月1日現在

11,205 世帯

26,751 人

(男 13,197人

女 13,554人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話・FAX 259-8359)
(HP <http://www.komakichiku.com/>)
- 発行者 宮島 俊文
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷